

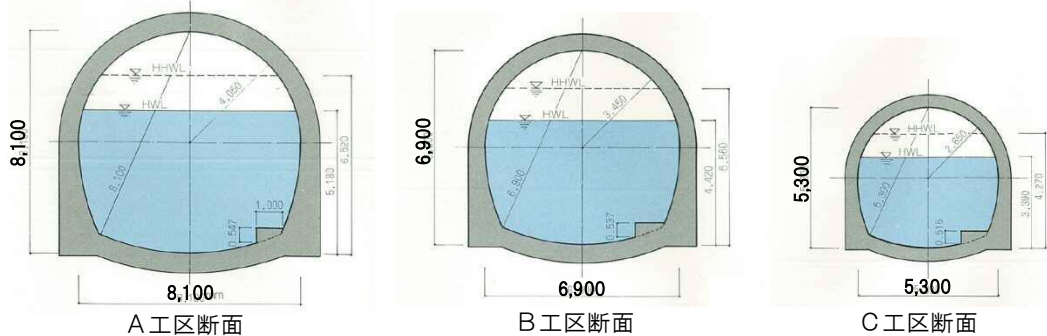
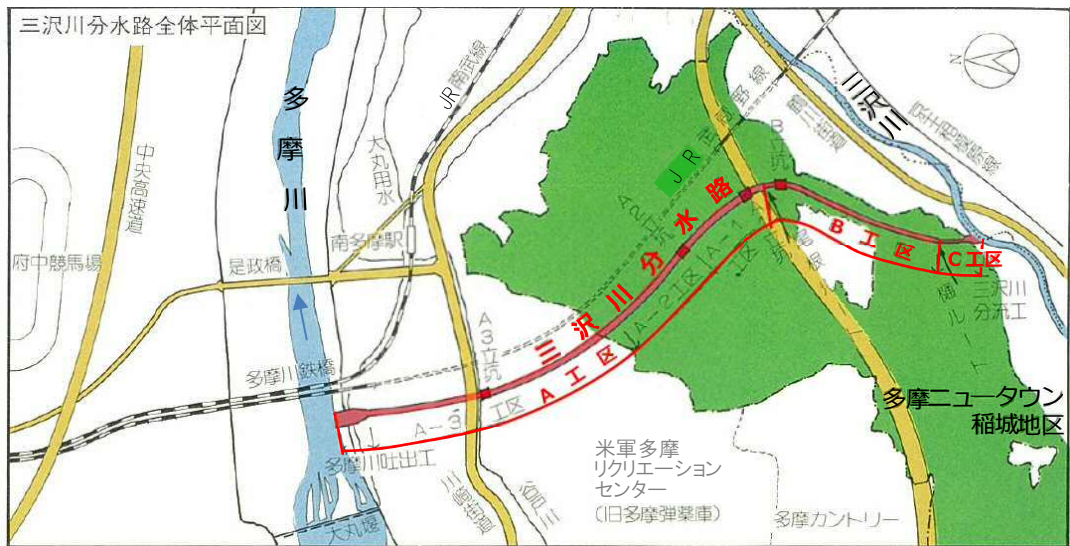
三沢川分水路（三沢川）

施設概要

三沢川分水路は、治水対策の一環として、三沢川本川の安全度向上と併せて、多摩ニュータウンの開発により増大する雨水の流出対策のために整備しました。

この分水路は三沢川の中流部から分流後、途中2箇所の雨水幹線を合流し、主に山岳部を通過して、JR南武線多摩川鉄橋の上流側で多摩川に注ぎ込みます。雨水幹線との合流の度に断面を大きくしており、下流から内径 8.1m (A工区)、6.9m (B工区)、5.3m (C工区) としております。

整備に当たっては、主に山岳トンネル工法により実施しました。昭和 53～57 年にかけて A 工区（吐口部含む）の 1,850m、昭和 54～58 年にかけて B 工区の 670m、昭和 56～58 年にかけて C 工区（取水口部含む）の 150m を整備しました。



分水路内部



分水路取水口

施設諸元

位置	稲城市坂浜～稲城市大丸
完成年度	昭和 58 年度
区間	東橋上流（三沢川） ～ J R 南武線多摩川鉄橋上流（多摩川）
延長	2,670m
断面構造	馬蹄形 5.3～8.1m

位置図



●取水口位置の QR コード



●吐口位置の QR コード

